

人も運命も統治したい
すべてのリーダーに捧げる

500年間、困難の時代にリーダーに力を授けた書

とても難しい時代を迎えています。

高度成長期からバブル崩壊、そして先の見えない不安な現代。

私たちは楽観視できない、不安と混乱に包まれた現代社会を生きています。

1400年代のイタリアも、同じような混乱と不安の時代を迎えていました。列強各国がイタリア半島に進出し、人々は優れた君主を待望したのです。

誰もが自らの地位を守り、困難な時代を逞しく生き抜く必要がありました。

マキアヴェリが書いた『君主論』とはどんな書物か？

ニコロ・マキアヴェリという人物が、君主のために書いた本です。

1500年代、今から約500年前にこの書は世に出ています。

マキアヴェリは、フィレンツェ共和国に生まれた政治・外交家です。

第二書記局長まで登り詰め、他国との戦争も政府高官として研究しました。

フィレンツェを愛していた彼は、複雑極まる権力闘争と国家統治を分析。

祖国イタリアを統一する優れた君主の出現を『君主論』で呼びかけたのです。

『君主論』は、複雑な時代をリーダーが生き抜くために読まれてきました。

荒波に翻弄されるのが嫌な者は、500年間『君主論』を夢中で読んだのです。

強いリーダーとなり、自らの地位と人生を望み通りに統治して、あらゆる年齢、国籍の人を動かすリーダーとなるためにです。

現代は、リーダーにあらゆる種類の人を率いる力が求められます。

年齢の上下はすでに関係なく、実力で肩書が決まる時代。

日本企業が再び国際化を急ぎ、上司や部下が外国人のことも増えています。

だからこそ、付け焼刃ではない、本物の指導力を模索する時代なのです。

あらゆる時代、グローバルに通用するリーダーの原理が求められています。時代や国境を超えた、人を動かす本物の原理原則を発見したいのです。

『君主論』は、リーダーのための非情の書と言われてきました。

目的のために手段を選ばないことを「マキアヴェリズム」と呼びます。

これは、これまで語られた『君主論』の典型的な姿です。

どう生きるべきか、ではなく人間が実際にどう生きているかを見抜くこと。

残酷さは一瞬で行い、恩恵は小出しに長く味わってもらわうべきこと。

君主であるためには、まさに手段を選ばないというわけです。

ところが詳しく『君主論』を読み進むと、別の側面があるのに気づきます。

この書には、マキアヴェリの正義と理想が密かに込められているのです。

彼は祖国イタリアを救ってくれる英雄としての君主を待っていました。

乱世の時代に、リーダーは理想を実現するためにあえて冷酷になれ。

『君主論』は、よき君主が乱世を救い、戦い抜くための武器でもあるのです。

運命と対峙し、自らの人生を統治したい人の『君主論』

では、リーダーのような立場にない人に『君主論』は関係ないのか？

そう思う方もいらっしゃるのではないかと思います。

マキアヴェリは、君主が優れた統治を行う術をまとめています。

人心掌握術、君主が人から必要不可欠と思われる方法。

君主が人を従わせる技術、自らの地位から転がり落ちないための知恵。

これらは、部下であるとき、上司を理解する手段にもなるでしょう。

『君主論』は、部下を持つ上司のためだけの本ではありません。

組織で出世してよい思いをしたければ、勝てる人につく必要があります。

上司の「生き残る力」の高低も、あなたが判定しなければなりません。

上司の浮沈は、ついていく部下にもまさに死活問題だからです

また、『君主論』には運命の女神という言葉が出てきます。

あらゆる時代に、人はこの運命の女神に幾度も翻弄されてきました。マキアヴェリも、権謀術数が渦巻くイタリアで運命と向き合った1人でした。自らの人生を賭け、彼は運命の女神と上手く付き合う方法を洞察しました。

強く生き抜くために、ムダなものとは一体何か？

大切なものを守るため、私たち人間が強くなる方法はあるのか？

難しく、不安ばかりの時代に逞しく図太く生きる手段はあるか？

人間関係を管理し、人を見抜き、あなたが力を得る方法はあるか？

悠久の歴史と偉人たちの盛衰から、生き方の真髓を汲み取った『君主論』。

そのエッセンスは、きつと今のあなたに救いの手を差し伸べてくれます。

500年間、リーダーに力と統治力を与え続けた書籍なのですから。

世界中の人々が運命と戦うため、読み継いできた書籍なのですから。

著者

目次

はじめに 4

序章 大切なものを守りたければ「君主」になろう

人、皆「君主」を目指せ 18

大切にすべき存在は3つある 20

大切なものを奪う「3つの敵」を知っておく 22

すべての波乱を乗り越える「君主」になろう 25

第1章 ケチであれ 冷酷であれ 自ら仕掛けよ

Point 1 「美徳」に見えて不幸な結果になることは、避ける 28

気前がよければいい、というものではない …………… 28
ケチに徹してよい …………… 30

「冷酷さ」は、養う価値あるスキル …………… 32
約束や信義に縛られるより、とにかく結果を出せ …………… 35
続けられないことに手を出すな …………… 37

Point 2 あなたのの中の「統率力」を高めよ …………… 40

大切な集団を健全に存続させることが、君主の使命 …………… 40
世襲の君主は有利だが、鍛えられていない弱点もある …………… 42
困難や課題は、君主を目指す者には好機である …………… 44
問題に取り組み解決する姿勢から、統率力が生まれる …………… 47

Point 3 できるリーダーの始め方、4つの行動 …………… 50

行動① あなたの権力を支える構造を見つける …………… 50
行動② 権力を保持するために、欲しい権力の近くに住む …………… 54
行動③ ルールや制度、約束事を作り、それを守る経験を積む …………… 57

行動④ 小さくとも、自分で何かを発案してそれを達成する …………… 60

第2章 力を求め、力を愛せ

Point 1 権力はよいもの。便利で大切なもの …………… 64

力を愛し、あなたの目標を現実化せよ …………… 64
あなたがどうしても必要だと感じさせよ …………… 67
君主でありたいなら、歴史を学べ …………… 69
運がよい・悪いで言い訳するな …………… 71

Point 2 タイミングを逃すな。すぐ動け …………… 74

「最善手」は常に、あなたではなく状況が決定している …………… 74
変化に応じ、自己流を捨てよ …………… 77
相手を見て、方法を決める …………… 78
状況を正しく見極めたら、素早く大胆に行動する …………… 82

Point 3 「運」「機会」「力量」「残酷さ」が君主の資質 …… 85

危機こそ君主になる時期である …… 85
偶然で地位を得たら、とめどなく努力せよ …… 88
皆が躊躇ちゆうちゆうするほどの大胆な勇気を発動させよう …… 91
突出した大胆さで登り詰め、努力で維持する …… 94

第3章 悪を学んで正義を行え

Point 1 周囲を動かす「支配力」を強化せよ …… 98

君主の支配力を生み出す5つの源泉 …… 98
過ちを見たら、勇気を持って処罰する …… 102
悪の用意周到さと賢さを、正しいことのために使う …… 104

Point 2 君主の「支配力」を伸ばす手法 …… 107

目の前の小さな期待を叶えよ …… 107
複数の期待のバランスも取る …… 110
問題解決者であれ …… 112
他者の評価は「努力目標」程度で済ませる …… 114

Point 3 あなたに従う人たちが誇りを持てる振る舞いを …… 117

部下は「従うに値するリーダーであるか」を見ている …… 117
軽蔑されるな …… 120
変幻自在である勇気を持って …… 123
周囲の期待はバランスよく満たせ …… 124

Point 4 繁栄した皇帝、没落した皇帝の違いとは …… 127

力を手にしても、君主の資質がなければ破滅する …… 127
謙虚で情け深く、温厚なだけの人は一流ではない …… 129
残虐で冷酷な皇帝のうち、1人だけ、帝位を全うできた理由 …… 132
決断と責任から逃げる者は君主ではない …… 136

第4章 誇り高き鋼の精神を養う

Point 1 君主は部下と周囲、人をどう扱うべきか …… 140

- 内に縛りつけるより、外に向かって一致団結させる …… 140
- 不満をもとに動けば、新たな不満を引き寄せるだけ …… 144
- 手ばなしに褒め、時に律することで人がついてくる …… 146
- 賞罰を適切に行うことを、君主は躊躇してはいけない …… 149
- 優れた成果を挙げる人に、広く目を配れ …… 151

Point 2 君主がへつらいを避け、優れた助言者を得る方法 …… 153

- お追従者ついでもの、ごますりの裏を見抜け …… 153
- 警告を与える人を遠ざけると、自らを殺す …… 155
- 計画を表に出す前に、客観的な意見を得る機会を作る …… 157
- 優秀なアドバイザーを選び、直言を依頼しよう …… 158
- 扱いやすいと感じる「愚か者」を選ばない …… 160

Point 3 君主の時間術、その一番大切なこと …… 165

- 必要な意見が出る空気を創り上げよ …… 162
- 辛抱強く待ち、素早く決断する …… 165
- 支配力のある期間に、大胆な改革は済ませておく …… 169
- 問題や相談事には、素早く反応する …… 171
- 時がすべてを癒すわけではない …… 173
- 時間の経過に負けず、自らを高め続けよ …… 176

第5章 運も人も正しく支配する

Point 1 多くの人を惹きつける正義を持つ …… 180

- 君主の誇りと役割、そして悪を学ぶ必要性 …… 180
- 夢や願いの成就が目指せるから、人がついてくる …… 184
- 部下や組織に守られる存在になる …… 188

Point 2 自らの変革に躊躇しない君主が常に勝つ …………… 192

支配者であるための知恵を学び続けよ …………… 192
他力に頼らず、自ら幸運を迎えにいけ …………… 194
変化への備えと柔軟性を捨てるな …………… 197
自分らしく負けるより、自らを変革して勝者となれ …………… 199

Point 3 君主の資質が、なにより必要な時代へ …………… 202

リーダーの支配力は「必要性」から生まれる …………… 202
変革や再生の力は内側から引き出せ …………… 204
人の夢まで背負って歩め …………… 207
人々を鼓舞し、誇りを授けて挑戦させ、夢を実現する君主となれ …………… 209

巻末付録…超訳スッキリ読める『君主論』 …………… 213
おわりに ～世界を変えた1冊としての『君主論』 …………… 248

装丁・本文デザイン 轡田昭彦＋坪井朋子

序章

大切なものを
守りたければ
「君主」になろう